

【防災】 あなたは大丈夫？ 「震災は忘れたころにやってくる」

積極的なご参加を 8時ごろサイレンを吹鳴

市防災訓練を

9月5日(日)に開催します

毎年8月30日から9月5日は「防災週間」です。市では、9月の第一日曜日に市内統一の防災訓練を実施しています。

今年は9月5日(日)、時刻は午前8時ごろから、防災行政無線と訓練サイレンの吹鳴で開始します。

万一の災害に備え、被害を最小限に食い止めるためにも、「自分の生命は自分で守る」、「自分たちの地域は自分たちで守る」という防災意識を持つことが大切です。

いつ発生するか分からない大地震に備え、いざというときに適切な行動ができるよう市民の皆さんの積極的な参加をお願いします。

また、訓練当日は防災行政無線からの放送をよく聞いて行動してください。

【総務部・総務課】

訓練の想定

飛騨南部を震源とする、M(マグニチュード)6.9規模の地震が発生。この地震により家屋の倒壊、火災発生、市道法面(のりめん)崩壊、道路の破損、電気・ガス・水道などに被害が生じた。

訓練の内容

市民の皆さんは、各地区・自主防災組織の計画による、避難誘導訓練、情報伝達訓練、安否確認訓練、炊き出し訓練などに参加してください。



備えあれば 憂いなし

9月1日は「防災の日」。大正12年(1923年)のこの日に発生した「関東大震災」を教訓に、定められました。

近年では平成16年(2004年)10月、新潟県中越地方でM6.8の地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。また、同年12月8日には政府の地震調査委員会が、岐阜県飛騨地方にある「阿寺断層帯北部」の活断層について、「全国活断層の中で地震の危険性が高いグループに分類される」という検討結果を公表しました。

私たちの身近に潜む震災に備え、いざというとき、大切な命や財産を地震から守るためには、日ごろの危機管理が大切です。

過去の教訓を生かし、各地区で行われる防災訓練に参加して、ふだんからの備えを再点検してみましょう。

